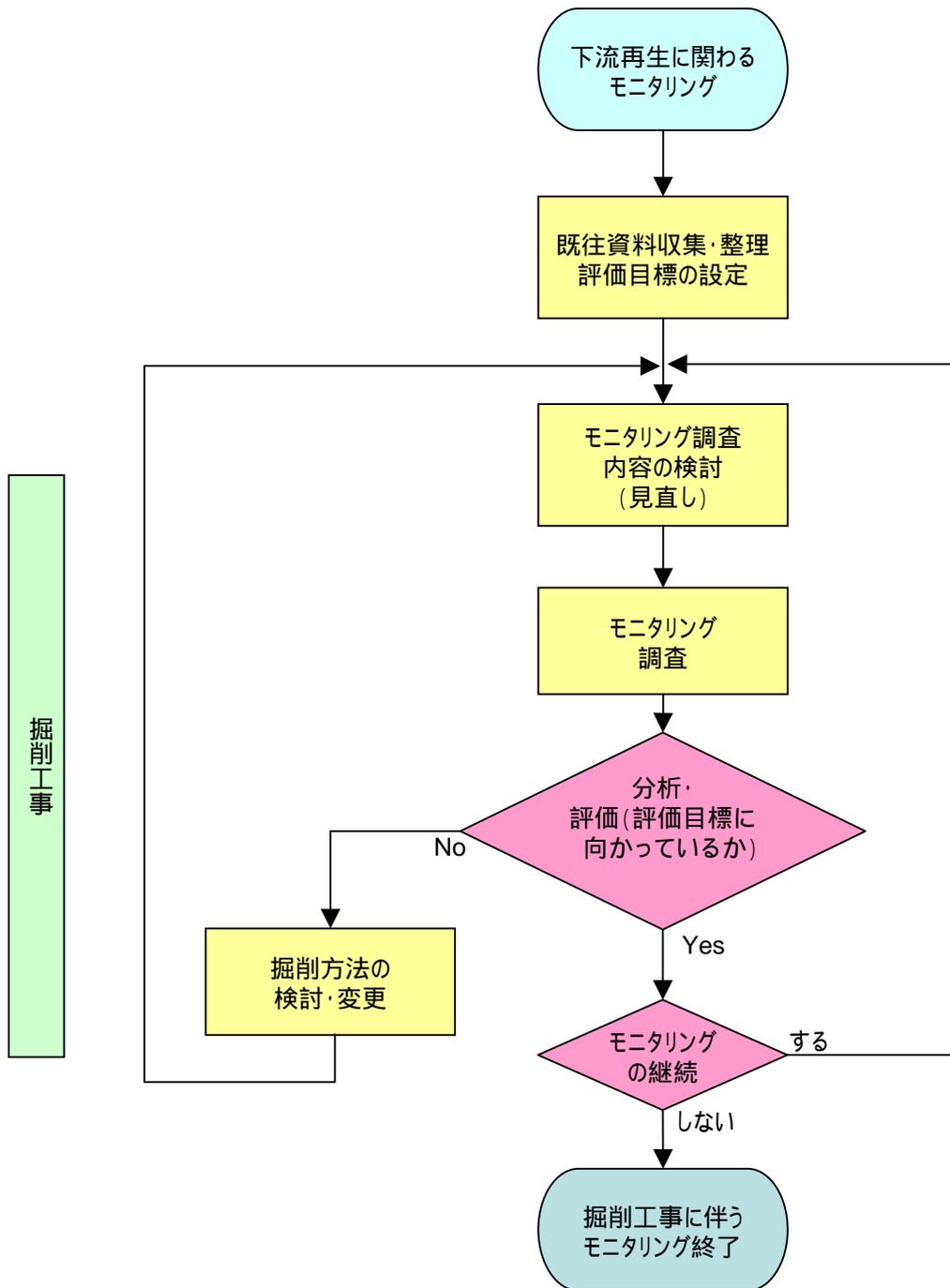


第5回沙流川下流環境再生技術検討部会
モニタリング計画(案)について

平成20年1月

調査目的

沙流川下流河道掘削(河口からKP6.0)に伴う環境影響モニタリングを行い、目標に向かっていているかを評価することを目的とするものである。



沙流川掘削工事モニタリングフロー図

モニタリング調査計画

調査名	調査時期	調査地点(測線、範囲)	調査項目及び評価項目	備考	
シヤマモの生息状況	河川底質調査	11～12月 1回	KP0.5～5.8区間0.25km毎の測線上で、右岸・河心・左岸の3地点。 なお、掘削後に産卵床となりうる箇所が新規に確認された場合は適宜増やすものとする。	漁場環境調査対象 赤字部増分	
	シヤマモ産着卵調査	11～12月 1回	KP0.5～5.8区間0.25km毎の測線上で、左岸・河心・右岸の6地点。 なお、掘削後に産卵床となりうる箇所が新規に確認された場合は適宜増やすものとする。	漁場環境調査対象 赤字部増分	
	水質調査(河川調査)	毎月1回定期調査 各1回	沙流川橋(KP2.8富川観測所)、 新平取橋(KP16平取観測所)	適宜追加項目 N、P、Si、Chl-a.	
	水質調査(海域調査)	・春期(仔魚降海期) ・夏期(海域回遊期) ・冬期(親魚産卵遡上期)	河口海域5地点	適宜追加項目 N、P、Si、Chl-a. 漁場環境調査対象	
	遡上親魚調査	11～12月の大潮時に3回	河口近傍地点	漁場環境調査対象	
	降海仔魚調査	4～5月の3～4日に1回計12回	河口左右岸地点	漁場環境調査対象	
	シヤマモ稚魚生息環境調査	6～7月 1回	河口海域9地点	導流堤改良工事モニタリング調査対象	
	塩水遡上調査	11～12月 大潮満潮時及び干潮時各1回	KP2.0より下流の塩水遡上区間で0.25km毎の5測線程度で、水温・塩分・水深・流速観測(STD、ADCPIによる)を行う。	導流堤改良工事モニタリング調査対象	
	河道の状況	河川横断測量	大規模出水後及び5年程度毎	KP0.4～21.4区間200mピッチ	
		河床材料調査	大規模出水後及び5年程度毎	KP1.0～21.0区間1kmピッチ、 左岸・中州(適宜)・右岸 なお、掘削後の河道状況を見ながら適宜増やすものとする。	赤字部増分
航空写真撮影		大規模出水後及び5年程度毎	河口～KP21.4区間		
下流航空写真撮影		毎年	河口～KP6.0区間	河岸の砂礫河原の分布状況、 樹木分布状況	
砂礫河原及び樹木分布状況調査		毎年夏期1回	河口～KP6.0区間の河岸踏査	河岸の砂礫河原の分布状況、 樹木分布状況・発育状況	
水城調査・構造物調査(河川水辺の国勢調査河川環境図作成) 植生図作成(河川水辺の国勢調査河川環境図作成)		5年程度毎 5年程度毎	河口～KP21.4区間 河口～KP21.4区間	河川水辺の国勢調査対象 河川水辺の国勢調査対象	

*黒字は現在の調査を継続する項目である。